



Begin! Linux

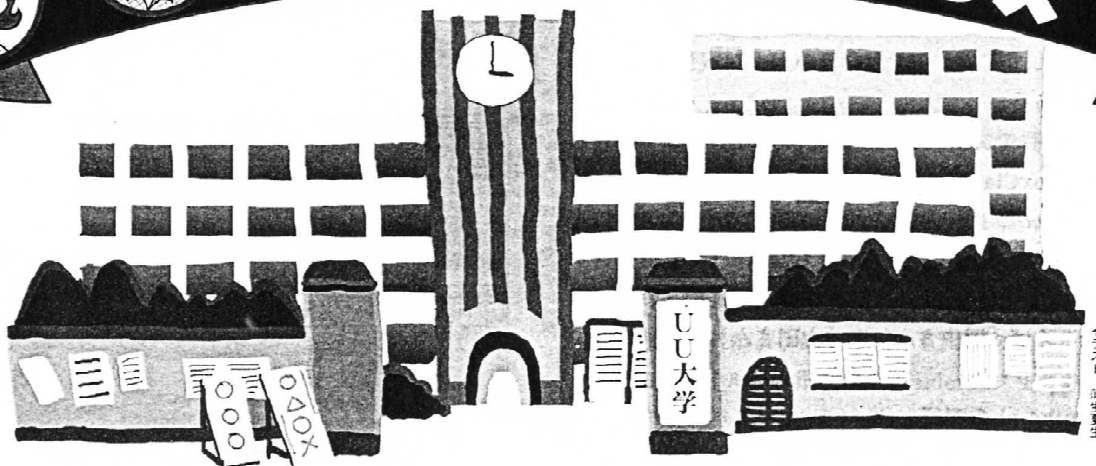


イラスト 浦井慶生



新学期となり無事に進級できた2人は、少しずつ高度なメールの使い方に興味を持ちはじめました。複数のメールをまとめて整理する方法、添付ファイルのやりとりに挑戦します。春休みの間に、遊びの連絡にでも利用していたのでしょうか？

黒田靖子

リナ：先生、お邪魔してもいいですか？

先生：久しぶりね。春休みからずっと見かけなかったけど、どこかへ行ってたの？

楠木：もう、スノーボード三昧ですよ。やっぱり若いうちは体を動かしておかないとね。先生くらいの年になると、スノーボードなんて危なっかしくて。

先生：私はスキーならするわよ。でも春スキーに行くと雪焼けが気になるのよね。

楠木：えー先生がスキーしている姿なんて、想像できん。もしや、竹スキーとか？

先生：失礼しちゃうわね。私のこと何歳だと思っているのかしら、まったく。ところで、楠木くんは無事2年生になったの？ リナちゃんは大丈夫よね。

リナ：全部単位がでていたので大丈夫です。

楠木：俺のほうは少々人よ大……。

先生：何かだんだん声が小さくなってきているけど、これ以上聞かないほうがよさそうね。今日はMewの応用編ね。いろいろな機能について説明しましょう。

✂ メールを削除する

先生：届いたメールの中には一度読んでしまったら必要がないものもあるわよね。まずは、メールの削除からやってみましょうか。そのうち、SPAMメールのようなもの

のもくるかもしれないからね。

楠木：SPAMって??

先生：不特定多数の相手に大量に発信して、受け手の意思を無視して送りつけてくるダイレクトメールの電子メール版みたいなものね。

リナ：SPAMって何かの略なのですか？

先生：SPAMは肉の缶詰のことなのよ。TVのコメディ番組で「SPAM、SPAM、SPAM」と連呼するシーンから、こうした迷惑メールを指すようになったといわれてるわね。

楠木：ふーん、要するに大量に送られてくる迷惑メールなわけね。

先生：じゃ、メールを削除する手順を説明しましょう。

●メールを削除しよう

メールを削除する手順を示します。今月はこれが基本操作になりますので、88ページの図1も見ながら覚えてください。

- ①削除したいメールの番号の前にカーソルを移動します。
- ②「d」を押します。番号の後ろに「D」というマークがつきます。このマークは「削除する」という意味を表します。
- ③削除マークをつけたメール番号に間違いがなければ「x」



を押します。

*

リナ：削除しちゃうなら慎重に作業を行わなければならないですね。

先生：Mewの場合、メールを削除するという操作をしても、本当に抹消されてしまうわけじゃないのよ。

楠木：それって、どういうこと？

先生：メールはファイルになっていて、そのファイルがtrashというフォルダに移動されるのよ。inboxの中身として表示されなくなるから、削除されたように見えるだけなの。

リナ：ということは、たまにtrashというところにたまったファイルを削除しないと、どんどん増えていってしまうわけですね。

楠木：なるほど、Windowsでファイルを削除する場合、まずごみ箱に入れて、次に本当に削除するかどうか決めるのと同じやな。

リナ：さっそく、メールを削除してみようっと。このメ

ールは削除してもいいから、「d」と。削除するときは「x」を押せばいいのよね。

楠木：お、さっきまで番号が順番だったのに、削除したら飛び石状態になってしまったな。

リナ：本当だ。これ、また連番にすることができますか？

先生：できるわよ。「O」を押してみても。

楠木：「ゼロ」なん、それとも「大文字のオー」？

先生：どうしてここだけ読むのよ。オーっていったじゃない。大文字のオーよ。

リナ：入力したら、ミニバッファにメッセージが表示されたわ。

```
Pack +inbox? (y or n)
```

先生：番号を振り直したい場合は、「y」を選んでね。

リナ：ちゃんと連番になりました。さっき、実際にはメールのファイルが削除されるわけではないということでしたが、trashにたまったファイルはrmコマンドで消してしまえばいいんですか？



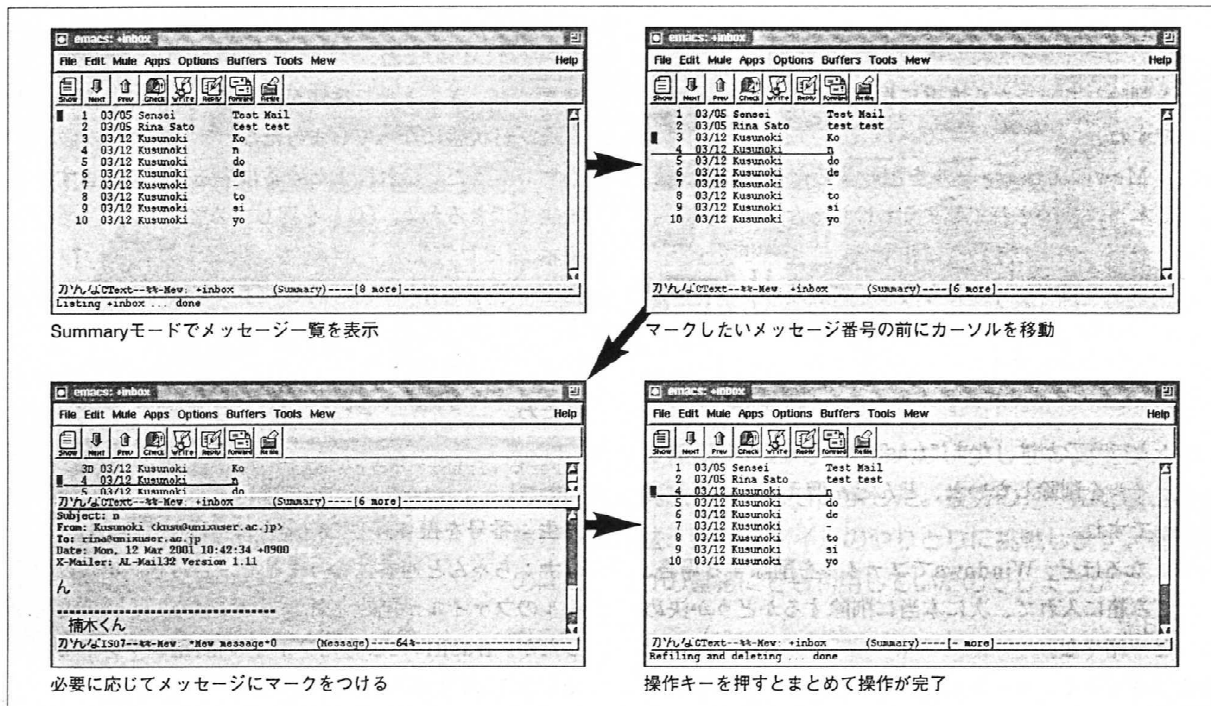


図1 今月の基本操作 - マークをつけて操作する

先生：そうですね、定期的に削除しておくといいわよ。

楠木：でも、trashはどこにあるん？

先生：いいことに気がついたわね。メールを取り込むと、ホームディレクトリの下のMailというディレクトリにある、inboxディレクトリに保存されるの。メールに関するディレクトリは、このMailディレクトリの下に作成されるって覚えておいてね。trashもMailディレクトリの下にあるのよ。そうそう、Mewでは~/Mail以下のディレクトリのことをフォルダと呼ぶのよ。説明のときにフォルダという言葉を使うけど、ディレクトリと同じものと考えてね。

📧 メールを整頓する

リナ：いろんな人からメールを受け取るようになったら、必要なメールをinboxから探すのが大変になりますね。

先生：そうなのよ。だから適当なフォルダを作って、メールを整頓しておいたほうがいいわね。

●フォルダを作ってメッセージを移動しよう

①移動したいメッセージ番号の前にカーソルを移動し、「o」を押します。

②メッセージの内容がmessageモード画面に表示され、ミニバッファにどのフォルダに移動するかたずねるメッセージが表示されます。

```
Folder name(+from/rina): +
```

③このときMewが移動先のフォルダを推測してくれます。Mewが推測してくれたフォルダ名は括弧の中に表示されるので、そのフォルダ名でよければ、Enterキーを押します。違うフォルダに移動したい場合はフォルダ名を入力し、Enterキーを押します。

```
Folder name(+from/rina): +from/sato
```

もしフォルダが存在しなければ、作成するかどうかたずねてきます。

```
No folder +from/sato exists. Create it? (y or n)
```

フォルダを作成する場合は「y」、フォルダを作成しない場合は「n」を押します。

④「y」を選択するとフォルダが作成され、メッセージ番号の後ろに“o”というマークがつきます。

⑤「x」を押すと、マークがついたメッセージがフォル



ダに移動します。

*

リナ：楠木くんから届いたメールをフォルダに移動してみよっと。まずは、目的のメッセージの番号にカーソルを移動して「o」を押すのよね。まだフォルダがないから、新しく作成して、「x」を押して移動！

楠木：リナちゃん流れるように操作しとるな。「from/kusu」ちゅうフォルダ名じゃなくて、もっと格好いいのにしてくれへん？

リナ：え～、そんなことをしたらだれから届いたのか分かんなくなっちゃう。

先生：リナちゃんのいうとおりよ。フォルダを作りすぎたり、推測しにくいフォルダ名をつけたりすると、かえって混乱するかもしれないわね。フォルダの作成は自分が把握できる範囲にしておいたほうがいいわよ。

リナ：メールを移動したら、メッセージについている番号が飛び石状態になったから、番号を詰めておこうっと。

フォルダの表示

リナ：メールを移動したフォルダの中を見たいのですが、どうすればいいですか？

先生：「g」を入力して、表示したいフォルダ名を入力すればいいわよ。

①「g」を入力すると、ミニバッファに以下のように表示されます。

```
Folder name (+inbox): +
```

②表示したいフォルダの名前を入力して、Enterキーを押します。

```
Folder name (+inbox): +from/rina
```

*

リナ：さっき作成したフォルダを表示したいから「from/kusu」と入力して、Enterキーを押せばいいのよね。

先生：目的のフォルダを表示できたかモードラインを確認してみてね。モードラインの真ん中くらいにフォルダ名が表示されているはずよ。

リナ：ちゃんと「from/kusu」が表示できてるみたい。もう一度inboxの表示に戻りたいときも同じように「g」を押せばいいんですよ。

先生：そうよ。「i」を押してメールを取り込んだ場合も、同じ操作でinboxに戻るわよ。

もっともっと便利にMew

先生：これまで説明してきた操作を覚えると、Mewを一通り使えるわね。

リナ：そうですね。「メールの送受信」、「届いたメールの整頓」ということができれば、自分がメールをだしたり、ほかの人からたくさんメールが届いても大丈夫そうですね。さっそく友達にメールをだしてみようっと。

楠木：たくさんメールが届くちゅうので思い出したけど、メーリングリストに登録したら、1日何十通もメールが届くこともあるんやろ？

先生：そうね。1日に届くメールの数はメーリングリストにもよるだろうけどね。

楠木：俺、Linuxでメールを読めるようになったら、メーリングリストに登録しようかなと思ってるんやけど、そうなったら、1日何十通ものメールをいちいちo、o、o……って入力してフォルダに分けるの面倒そうやな。

先生：Mewにはまだまだ便利な機能がいろいろあるのよ。たとえばSubjectが同じメッセージを探して、まとめてフォルダに移動するってことも簡単にできるのよ。

楠木：それができれば、キーを連打しなくてもいいんか。それは便利そうやな。

先生：まずは、お目当てのメッセージを探せる選択コマンドと、“*”マークの使い方から説明しましょうか。

●選択コマンドでまとめて操作

・選択コマンドと“*”マーク

選択コマンド「?」を使うと、条件にあうメッセージを検索し、該当するメッセージに“*”マークをつけます。“*”マークを“o”マークや“D”マークに変換するコマンドを組み合わせると、ある条件に一致するメッセージをまとめてフォルダに移動したり、削除したりできます。

①「?」を入力すると、ミニバッファに以下のように表示されます。

```
pick pattern:
```

②検索対象にするフィールドと文字列を入力し、Enterキーを押します。たとえば、「Subjectにinfoという文

字列を含むメッセージを探したい」という場合は、以下のように入力します。

```
pick pattern: subject=info
```

③該当するメッセージがあった場合、番号の後ろに“*”マークがつきます。

```
1 03/05 Sensei      Test Mail
2 03/05 Rina Sato   test test
3* 03/13 Yuko Suzuki info      鈴木です。お知らせです。
4* 03/13 Yuko Suzuki Re:info   鈴木です。訂正があります。
5 03/14 Kusunoki   Rina-chan  楠木だよ〜ん。
```

・選択コマンドで入力できる条件

field=stringと入力したとき、フィールドfieldに文字列stringが含まれていればマッチ(該当)します。フィールドには次のようなものが指定できます。

subject	メッセージの題名
from	メッセージの差出人
head	メッセージのヘッダー全体
body	メッセージの本文
all	メッセージ全体

ここで、field=stringを1つの条件パターンとして、複数の条件を組み合わせた評価式を指定することもできます。

両方含む: pattern1 & pattern2

pattern1かつpattern2のときマッチします。たとえば、Cc:がkusuを含み、かつFrom:がrinaを含むメッセージを選択する場合は次のようにします。

```
cc=kusu & from=rina
```

どちらか含む: pattern1 | pattern2

pattern1またはpattern2のときマッチします。たとえば、Cc:がkusuを含むか、またはFrom:がrinaを含むメッセージを選択する場合は次のようにします。

```
cc=kusu | from=rina
```

否定する: ! pattern

patternでないときマッチします。たとえば、Cc:がkusuを含まないメッセージを選択する場合は、次のようになります。

```
!cc=kusu
```

評価順を変える: (評価式)

3つ以上の条件があるとき、括弧の中を先に評価します。たとえば、Cc:がkusuを含むかFrom:がrinaを含み、さらにSubject:がinfoを含むメッセージを選択する場合は次のようにします。

```
(cc=kusu | from=rina) & subject=info
```

・マークを変換して操作

“*”マークがついたメッセージを一括してすべて削除したり、あるフォルダにまとめて移動させるために、“*”マークを“o”マークや“D”マークに変換するコマンドがあります。

moコマンドは“*”マークを“o”マークに変換し、mdコマンドは“*”マークを“D”マークに変換します。

Summaryモードで、以下のような状態になっているとします。“*”マークがついたメールをまとめてフォルダに移動してみましょう。

```
1 03/03 Rina Sato   test test
2 03/05 Sensei     Test Mail      This is test mail.
3* 03/12 Yuko Suzuki info           鈴木です。お知らせです。
4* 03/12 Yuko Suzuki Re:info       鈴木です。訂正があります。
5 03/13 Kusunoki   Rina-chan     楠木だよ〜ん。
```

①[mo]と入力します。ミニバッファに以下のように表示されます。ただし、移動するフォルダ名は同じとは限りません。

```
Folder name (+from/yuko): +
```

次に移動したいフォルダ名を入力し、Enterキーを押します。

```
Folder name (+from/yuko): +info
```

②移動先のフォルダが決定したら、“*”マークが“o”マークに変わります。

```
1 03/05 Sensei      Test Mail
2 03/05 Rina Sato   test test
3o 03/12 Yuko Suzuki info      鈴木です。お知らせです。
4o 03/12 Yuko Suzuki Re:info   鈴木です。訂正があります。
5 03/13 Kusunoki   Rina-chan  楠木だよ〜ん。
```

③[x]を入力すると、メッセージが移動します。同様に、「md」コマンドで“*”マークをすべて“D”マークに変換すると、一度にメッセージを削除できます。



・マークの取り消し

フォルダに移動しようと思っていたメッセージに、間違えて削除のマーク“D”をつけてしまうことがあるかもしれません。そのような場合に使うのがマークを取り消すコマンドです。


現在のメッセージのマークを消すのは簡単で、まずマークを取り消したいメッセージにカーソルを移動させます。次に「u」を入力します。これでマークが1つだけ消えます。すべてのマークを消す場合は、次のような手順になります。

たとえば、いま説明した手順の②、“o”マークがついた状態で、“o”マークを取り消したいとします。

まず「U」を入力します。ミニバッファに以下のように表示されます。

Input mark:

取り消したいマークが“o”なので、「o」と入力してEnterキーを押します。これで、指定したマークがすべて消えます。

 添付ファイル

先生：最近、メールに画像やWordの文書を添付して送られてくることもあるのよね。

リナ：メールって文字だけしか送れないわけじゃないんですね。

先生：そうなのよ。でもファイルを添付するときは相手がどんな環境でメールを読んでいるのか考えないと、せっかく添付したファイルを開けないという場合もあるから、気をつけなくちゃいけないのよ。

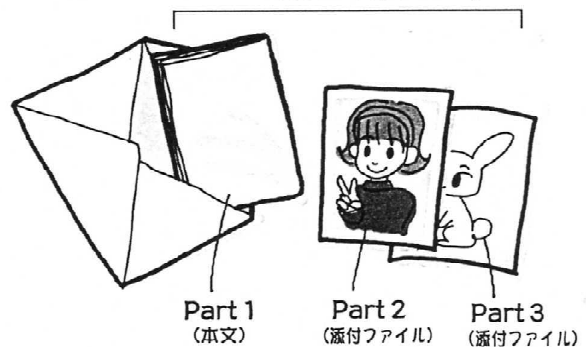
楠木：Windowsのメールソフトからやと、簡単にファイルを添付できるけど、Mewでもできるん？

先生：できるわよ。でも操作方法を説明する前に、知っておいてほしい言葉があるから説明しておくわね。

●ファイルを添付しよう

開発当初のインターネットメールは、半角英数字しか送れませんでした。インターネットが普及するにつれ、英語以外の8ビットテキストデータや、画像ファイルなどのマルチメディアデータをやりとりする必要が生じてきたため、そのための拡張仕様が決まりました。これがMIME (Multipurpose Internet Mail Extensions) と

MIMEマルチパート



いう規格です。

・MIMEとは

MIMEを使えば、Subjectに日本語を使ったり、画像データやアプリケーション (WordやExcelなど) 固有のデータをメールの本文に埋め込んだりできます。また、画像ファイルのようなバイナリデータを添付して送信する場合、いったんテキスト形式にデータ変換 (エンコード) してから送信し、受信者が元のバイナリファイルに復元 (デコード) する方法をとっています。データをテキスト形式に変換する方法はいくつかありますが、Base64という方式がMIME標準となっています。

さらにMIMEの拡張仕様として、一通の電子メールに複数の異なる種類のデータを格納する方式が決まっています。これが「マルチパート」という規格です。従来、メールはヘッダーと本文という2つの部分しか持てませんでしたが、マルチパート仕様により、「区切り文字」を境に任意の数の部分 (パート) に分割することが可能となりました。これにより、たとえば1つのメールで本文テキスト、画像、音声など複数のファイルをまとめて送受信できるようになりました。

・添付の操作手順

添付メールを作るときは、以下のようにします。

- ①まずメールの本文を入力します。
- ②次にマルチパートを作成します。バッファの一番下にカーソルがあることを確認して、「C-c C-a」を入力すると、

```

..... attachments .....
Multipart/Mixed                               1/
1 Text/Plain(guess)                           CoverPage
2
.....0-1-2-3-4-5-6-7-8-9.....

```

という行が挿入されます。ここではdraft/1でメールを作成しているとします。1はマルチパートを構築するための一時的なディレクトリで、実体は~/Mail/draft/mime/1です。

③「C-f」を押し、「1/」の表示にカーソルを移動し、さらに「C-f」を押し、CoverPageにカーソルを移動します。次に「C-n」を押し、「2」の表示にカーソルを移動したところで、「c」を押します。

④ミニバッファに、

```
Copy from: ~/
```

と表示されますので、添付したいファイルのパスを入力し、Enterキーを押します。

```
Copy from: ~/file_name
```

⑤ミニバッファの表示が変わりますので、ファイル名を

表1 拡張子の種類

拡張子	意味
txt	テキストファイル
html	HTML文書ファイル
ps	PostScriptファイル
gif	GIF形式の画像ファイル
jpg, jpeg	JPEG形式の画像ファイル
bmp	ビットマップ形式の画像ファイル
mpg, mpeg	MPEG形式の動画ファイル
doc	Word形式のファイル
xls	Excel形式のファイル

表2 添付領域でのキーの割り当て

キー操作	意味
C-p	現在のディレクトリの前のファイルへ移動
C-n	現在のディレクトリの後ろのファイルへ移動
C-f	1番目のサブディレクトリに移動
C-b	親ディレクトリに移動
c	ファイルのコピー。“.”上で有効
d	ファイルとディレクトリの消去
m	サブディレクトリ(マルチパート)の作成。“.”上で有効
T	データ型(Content-Type)の変更
D	説明(ContentDescription)の入力
t	テキスト型のデータのcharsetを指定
C-c C-m	マルチパートに変換
C-c C-u	マルチパートの変換後、元に戻す

入力します。ここで入力するファイル名は、どのようなデータを持つファイルなのかを推測できるように拡張子に気をつけます。拡張子とはファイルの種類を表す3~4文字の文字列です(表1)。

```
Copy to (file_name): file_name.txt
```

拡張子を適切に設定していないと、あとでデータを復元できなくなります。たとえば、Wordで作成したファイルはバイナリファイルですが、もし拡張子をtxtとしてしまうとテキストファイルとして認識されるため、受信者が表示しようと思ってもできなくなってしまいます。

⑥「C-n」を押し、次の“.”に移動して、同じように添付するファイルを指定していきます。ファイルを指定し終わったら、マルチパートに変換するために「C-c C-m」と入力します。

⑦最後に「C-c C-c」と入力するとメールを送信できます。添付作業中に可能なキー操作を表2にまとめます。

*

リナ: 「C-c C-a」を入力した直後に、添付するファイルをまだ指定していないのに、1のパートがあるのはどうしてですか? CoverPageというファイルですか?

先生: 1のCoverPageは本文を意味するのよ。

楠木: なるほど、メールの本文もマルチパートの一部うちゅうわけやな。

先生: そのとおりよ。

添付ファイルを見てみよう

楠木: いま重要なことに気づいたぞ!!

リナ: えっ? 何??

楠木: 添付ファイルの送り方は分かったけど、どうやって読めばいいん?

先生: あら、説明し忘れていたわ。いいところに気づいたわね、楠木くん。今日はさえてるじゃない。

楠木: だからいったやん。俺は「いつも」さえてるんやって。

先生: はいはい。いつもさえているわね。

● 添付ファイルを開く

① 添付ファイルがついているメッセージには番号の後ろに“M”がついています。読みたいメッセージの番号に



カーソルを移動し、「.」を押します。

```
1 M03/03 To:rina@uni Test || test QK02A8AAAAADYAAAAoAAAaATAAAACAAADAD
B 2 Image/Jpeg sunobol.jpeg
B 3 Image/Jpeg sunobo2.jpeg
```

添付されているファイルが表示されるので、見たいファイルにカーソルを移動します。

②Spaceキーを押すと、ファイルを開くかどうか聞いてくるので、「y」を入力します。開けないファイルの場合はファイルを保存します。

目的のファイルがLinux上で起動可能であれば、「C-c C-e」を入力することでファイルを保存せずに内容を確認できます。

*

楠木：もしLinuxでメールを読み書きしていて、Wordのファイルを添付されたら厄介やな。

リナ：そういう場合は、ファイルをフロッピーにでもコピーして、Windowsで開くといいのかな。

先生：それが手間はかかるけれど、簡単・确实ね。

楠木：でもやっぱ、面倒やな。

リナ：そっか、だから相手のメール環境を考慮して添付ファイルを送るっていうのは重要なことなんですね。

先生：今日のところは、これで終わりにしましょうか。

楠木：ふう、覚えることが山のようで、疲れた、疲れた。

リナ：楠木くん、いつもそう言ってない？

先生：学生の本分は勉強することなんだから、若いうちにいっぱい知識を吸収しておかないと。

楠木：まあ、これでLinuxでもメールを読めそうやから、いくつかメーリングリストにでも入って知識を深めようかね。

先生：入ろうと思っているメーリングリストがあるの？

楠木：もちろん、すでに調査済み。

リナ：うわーすごい！ どういうメーリングリストに登録するの？

楠木：モーニング娘。の情報交換メーリングリストと、浜崎あゆみファンのメーリングリストと……。

先生：で、何の知識を深めるの？

楠木：いや、その、マルチメディア時代におけるアイドルの存在について、勉強しようかと。

リナ：何だかすごくとってつけたような……。

楠木：しまった、よけいなこといわなければ、リナちゃんからちょっとばかり尊敬してもらったのに。



今回のまとめ

今日はMewのいろんな機能を教えてもらった。私もいっぱいメールのやりとりをしたいな。教えてもらったMewの機能をまとめておこう。

・コマンド

d：メッセージに削除マークをつける。

x：指定された動作（ファイルの削除やフォルダの移動）を実行

?：条件を入力して、該当するメッセージにマークをつける

mo：“*”マークを“o”マークに置換する

md：“*”マークを“D”マークに置換する

・マークのまとめ

D：削除するメッセージを表すマーク

o：移動するフォルダを決定したメッセージを表すマーク

*：選択コマンドを使ったときに、入力条件にあったメッセージにつくマーク。あとから読み返したいメッセージにつけるマークでもある

